

平成28年度 学び舎ひまわり第3講 開催報告

DATA

日時 平成28年 10月 8日(土) 10:00~13:15

会場 上大岡連合・社協まつり会場、港南区民活動支援センター

受講生 33名(地域 22名 区役所 6名 ケアプラザ 5名)

プログラム内容

第3講では、連合や社協など、地域が一丸となって取り組む自慢のイベントを見学。

今年度は上大岡連合・社協まつりにお邪魔しました。



【上大岡連合町内会 加藤会長より講話】

上大岡連合・社協まつりは、平成25年から始まり、今年で4回目を迎えます。

それまでは、有志のメンバーでお神輿を出していましたが、だんだん規模が大きくなり、一時的に鎌倉街道で渋滞が発生するようになり、隣の区の南警察にまで迷惑をかけるようになってしまいました。

そのような中、学び舎ひまわりの名誉校長でもある高森区連会顧問から、上大岡で地域のイベントを何かできないかという話をいただいたこともあり、祭りの開催について検討することにしました。



立地や広さを考えると地域の小中学校を会場とすることは不可能でした。そこで、上大岡駅前のアーケード下を会場とすることにしました。地元の商店会の皆さんは、祭りを開催することで人が集まることを大事にされています。話し合いを重ねた結果、快く会場として貸してくれることになりました。

祭り当日のために、何回も打ち合わせを行っていますが、本番となるとなかなかうまくいかないこともあります。また、上大岡でも単会の会長さんをお願いしてお祭りに協力してくれる人を募っています。大きなイベントを運営するには、みんなでお互いに協力しあうことが大切です。

【上大岡地区社協事務局長 石上捷子さんより講話】

上大岡は地域住民だけではなく、それ以外の不特定多数が集まる地域。上大岡連合・社協まつりは、一貫して「地域の絆」を大切にしながら様々な人達の多世代交流をテーマにしています。

始まった当初は10回以上の打ち合わせを行っていましたが、現在は約30名の実行委員メンバーによる3回の打ち合わせで本番を迎えています。



【警備やセキュリティ関係など】

会場には2、3日前から看板を立て、祭りの開催を周知し、当日は朝4時から警備を行っています。一番悩みのタネだったのが貴重品の預け場所がないこと。2回目までは本部テントで預かっていましたが、沢山の人が出入りする中バッグがなくなったことが一度あり、以来貴重品を全く預からないようにしました。今年度は、出演団体ごとに荷物を管理する係をたてるなど、みなさんに工夫をいただいています。

また、お弁当の数がいつも足りなくなりましたが、お弁当の券を発行することで数が合うようになりました。

狭いアーケードの中で行うイベントなので、様々な配慮をしながら運営しています。当日の会場整理は町会ごとに担当を割り振っています。自転車やベビーカーはカミオの中を通るようにスタッフが誘導し、導線を確認しています。また、消防署の方にも目配りをお願いしています。

ただ、通路が狭くなることを不快に思う方はどうしてもいらっしゃいます。以前は総務の役員等が対応していましたが、現在はその場で素早く対応すべく、対応した者がその都度きちんと謝るようにしています。

【小中学生の参加】

今年から中学生がボランティアとして入っています。スタッフと同じシャツを着てもらうことで連帯感が生まれたと思います。中学生のボランティア参加については学校の理解がととても重要なので、何回もお願いしに伺いました。

演奏してくれた中学生や踊ってくれた小学生に「このアーケードで演奏したんだ」という思いを持ってもらうことで地域とのつながりを深め、今後担い手として活躍してくれるようになることを期待しています。

【今後の課題】

町内会ごとに分担金を出し合い祭りを運営していますが、祭りに対する町会の協力度、関わる人数にはばらつきがあります。また、物販をして利益を上げ、地区社協の活動などに役立てたいのですが、商店会との関係もありそれが難しくなっています。

町内会で何かしてみたいことがあれば、少し難しいと思うことでもとりあえずやってみた方がいいと思います！やってみると意外に理解者や協力者が現れ、うまくいくことがあるかもしれません。まずは声をあげてみるのが第一歩だと思います！



学びのまとめ 集計結果

回答数 33件 回収率 100%

満足	やや満足	やや不満	不満
23	10	0	0
69.7%	30.3%	0.0%	0.0%

受講生の声

- ◎多世代交流として小中高生を巻き込むことや、小さな気遣いが大切と感じました。
- ◎クレーム、ケガ人の対応、その場で謝ることなど参考になりました。自分の地域での行事にも活かします。
- ◎人が集まることが一番大事、無理をして取り組むことではないが、何かをやらないよりやったほうがいいという言葉が印象に残りました。
- ◎商店会はもとより、他の町内会、団体との連携の大切さを実感しました。
- ◎地域の方々が元気に輝いていると感じました。地域が一体となって絆を意識し、ひとつの行事を行うとしっかり盛り上がるのだとあらためて実感しました。
- ◎加藤会長からの祭りを始めた経緯、石上さんからの実務的な話、地域への思い、それぞれの立場からの具体的な話が聞けてとてもよかった。
- ◎見学と講義のパートが分かれていてじっくり話を聞いたのが良かったです。ブースの見学の時間が少なかったのが残念。
- ◎全体の時間がもう少し短くてもよかったのでは？

当日の様子

